

# 「高齢者における内頸動脈狭窄症に対して CAS と CEA の治療成績を比較検討する観察研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2019 年 7 月 22 日から 2019 年 9 月 30 日までを予定しています。

## 【研究の意義・目的】

内頸動脈狭窄症に対しての外科的治療方法としては頸動脈内膜剥離術（CEA）と頸動脈ステント留置術（CAS）があります。それぞれ病変の状態や、手術の難易度を術前に検討して治療方法を選択します。高齢患者における CEA、CAS の治療成績については、CEA が成績が優るとの報告がありますが、合併症や基礎疾患により選択が難渋することがあります。当院での高齢患者における CAS、CEA の治療成績について検討を行います。

## 【研究の対象】

小倉記念病院において 2016 年 4 月 1 日から 2018 年 12 月の間に、頸動脈狭窄症に対して外科的治療を施行した高齢患者さん（80 歳以上）を対象としています。

## 【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、性別、術前の血管の狭窄率、プラークの性状、術後の神経症状、術後の検査画像の所見、術後の全身状態などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・波多野 武人の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

## 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

## 【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申

し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経外科 担当者 近藤 大祐  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000（代）